

NPO法人葉山まちづくり協会

広がる「協働のまちづくり」

まちづくり展や情報の収集・発信など多彩な活動

「葉山を歩こう・散策マップ」も好評

私たちが暮らす葉山。このまちを豊かで、魅力あるものにして、市民の非営利組織「NPO法人葉山まちづくり協会」が誕生して、五年目の春を迎えました。

この間、町民と行政の『協働のまちづくり』をキーワードに、葉山まちづくり館の運営やまちづくり活動の支援、情報の収集・発信などに積極的に取り組み、まちづくりの輪が着実に広がっています。

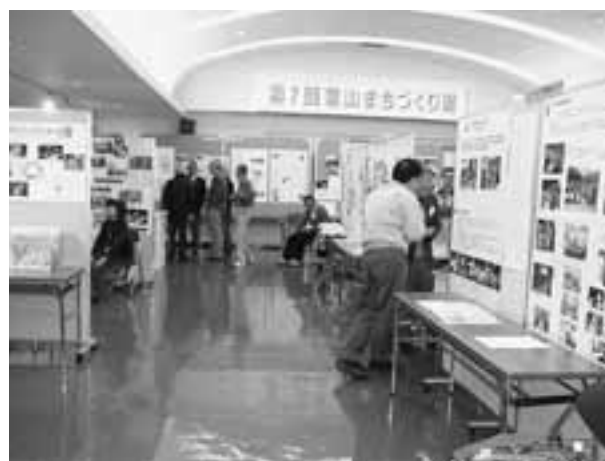
NPO法人葉山まちづくり協会の現在の会員数は七〇人。加盟登録する、まちづくり活動団体は三〇を越え、メンバー規模は千人ほどになっています。

同協会は、まちづくりのコーディネートとして、町民と行政の間をつなぎ、関係団体などの連携強化を進める中間支援組織の役割を持ち、『協働のまちづくり』を推進するために、幅広い活動を行っています。

その中心になるのが、町民のまちづくり活動の支援やイベントの開催、まちづくりに関する多彩な情報の発掘（収集）と発信。そして、まちづくり活動の拠点である「葉山まちづくり館」の運営です。

まちづくり活動の支援

町民のまちづくり活動を広くPRするため、年一回、「葉山まちづくり展」を開催しています。町立図書館ホールを主会場に、パネル展示や発



表会などを通して、各まちづくり団体の活動状況とその成果を紹介しています。昨年は多くの団体が出席し、好評を博しました。八回目の今年は五月十四日(水)〜十八日(日)に開催します。

また、協会に加入して、活動を続けている団体や行政などが集い、それぞれの活動の情報を交換し、協働



について考える場として年に三〜四回、「会員交流会」を開催しています。

昨年末には、会員団体の「森戸川村」の協力で、初めて野外での交流会を実施しました。森戸川の林道を散策しながら、自然観察を楽しみました。

このほか、町教育委員会の「まちづくり参画セミナー」事業に協力し、定年を迎え、第二の人生を模索する団塊世代の皆さんのまちづくり活動への参加を応援しています。

情報の収集と発信

まちづくり活動への関心を高め、その輪を大きく広げていくには、地域のまちづくり情報を積極的に発掘・収集して整理し、さらに広く発信していくことが何より重要です。

そのため、広報活動の一つとし



活動の成果

これまで、まちづくり情報満載の「くれ竹通信」を隔月（年六回）に発行し、各戸に配布しています。
また、インターネットによる情報発信にも力を入れ、協会のホームページにアクセスすれば、まちづくりに関するさまざまな情報が容易に入手できます。

これまでの活動が実を結び、具体的な成果もいろいろ出始めています。

例えば、「葉山を歩こう・散策マップ」の作成です。これは町内六地区を丹念に歩いて、地区内の寺社や文化財、景勝ポイントなどを調べ、A3サイズの散策用地図にまとめまし

た。六地区のほか、海と山のコースも含めて全部で九コースがあり、『わがまち葉山』を知る手軽な案内マップとして、人気を呼んでいます。
また、町社会福祉協議会などと協力して、「はやま地域活動ガイドブック」も発行しています。このガイドブックには、町内のまちづくりやボランティア団体などが多数紹介されており、地域活動の入門書になっています。

葉山まちづくり館

同協会の大きな仕事の一つは、図書館の二階にある葉山まちづくり館の運営です。ここには協会の事務局が置かれ、スタッフも常駐しています。

館内には、交流のためのスペースが設けられ、パソコンやコピー機などの機材もそろい、誰でも自由に利用ができます。まちづくり活動に関する相談窓口もあり、各種のまちづくり情報や資料の提供、人材や団体の紹介なども行っています。

また、館内の展示スペースでは、月替わりで、まちづくり団体などの活動を紹介しています。

誕生から五年目を迎え、多彩な活動に取り組んでいるNPO法人葉山まちづくり協会。「拠点のまちづく

り館も利用者が増え、忙しくなってきました。できれば若い皆さんに、スタッフとして運営を手伝って欲しい」と、協会の森田昌明代表理事は

語っています。
問合せ NPO法人まちづくり協会
☎八七六一〇四二一

● 協会頒布物 ●

葉山を歩こう9枚セット 700円



葉山を歩こう1部100円
6地区セット 500円



山コース1部 100円
3コースセット 250円



大正十二年八月の古地図
90×40 1,500円
(関東大震災の直前の堀内商店街案内図)



ひげじいの絵葉書
126種類
1枚 50円